ONE TEAM

津 幡 町 立 津 幡 中 学 校 1 年 学 年 だ よ り12 号 令 和 6 年 9月27日(金) 津幡中学校長 泉 智一 1学年主任 上谷 知未

多くの学びがあった運動会



1年生のみなさんにとって中学校でのはじめての運動会でした。小学校とはちがった雰囲気やよさを味わえたのではないでしょうか。運動会は、学級や学年、先輩と後輩、委員会など、いろいろな立場の生徒が「協力し合う」ことで成功するものです。そして「集団で一つの目標に向かって全力を出し切ることの素晴らしさ」を体験できるものです。

当日の競技や応援はもちろんですが、これまでの団別練習や準備などからも、そのことを学ぶことができた運動会になりました。以下は、運動会を通して1年生のみなさんが学んだことの一部です。それぞれが「どんなことを学び、感じとったのか」を仲間の振り返りからも学び、今後の学校生活に生かしていきましょう。

- ・アピールタイムの前に、「声を合わせてがんばろう」などの声かけの後、本番では、みんなが協力していてすごいなと思ったし、全員が協力すると、こんなことができるということを知れたので、これからの学校生活では、目標を作り、みんなで協力して目標を達成して、その目標を越えられることができるようにがんばりたいです。 (1組女子)
- ・みんなで励まし合い、協力し合うことは良いことだと思いました。学校生活でも失敗したときは励まし合い、一人でできないことはみんなで協力し合うことを心がけたいと思いました。 (1組男子)
- ・みんなで協力することの大切さや、みんなで協力して一人一人が全力で競技することで楽しくなることが分かった。だから、これからの学校生活で、みんなで協力したり、一人一人が全力ですることを生かしていきたいと思った。 (2組女子)

- ・中学校で初めての運動会だったので不安だったのですが、ダンス部門で1位をとれたりしたのでよかった。他学年の競技中、応援することが個人的に結構少なかった気がするので、来年からは、しっかり応援するようにしたい。クラスの団結力が前より高まった気がするので合唱コンクールに生かしていきたい。 (2組男子)
- ・みんなが全力を出して元気に楽しくすることができていて良かった。これからの学校生活で困っている人がいたら、みんなで協力するということを生かしたい。運動会を通して様々なことを学ぶことができたし、楽しかったので良かったなと思った。 (3組女子)
- ・ダンスが最初全然覚えられなかったけど、たくさん練習して、本番では1番いいものに出来上がった。みんなで玉入れやリレーを協力してやり切れたし、応援を声がかれるくらい一生懸命してクラスの仲が深まったと思いました。これから合唱コンクールでも協力してがんばりたいと思いました。 (3組女子)
- ・1位にはなれなかったけど、最後は楽しく終われてよかったです。緑団で協力できて、クラスのみんなとも協力できて仲が深まったと思いました。来年は応援団に入って一年生を引っ張っていきたいです。リレーも来年出れるようにがんばりたいと思います。緑団がこのメンバーでよかったと思います。 (4組女子)
- ・今まで練習していて、(3年生と)最初は話したこともなく緊張していたけれど、練習を重ねる度に仲がよくなっていって学年関係なく仲が深まったと思います。しかも、話しやすく友達感覚で話せました。私は、この運動会で3年生みたいな人になりたいと思いました。

(4組女子)

- ・他の学年とも関わりながら、みんなが楽しむことができるようにすることを学校生活でも生かしていきたいと思いました。勝ち負けがあるものが多いけど、勝ち負けよりも悔いの残らない、やり切れたなと感じることができる活動を行ったり、そう思えるように一人一人が努力していけるようになりたいです。 (5組男子)
- ・結果的に順位では負けてしまったけれど、応援団長が言っていたように、協力とかは全力でできていたと思うので、その深まった協力性・責任感・積極性をこれからの学校生活の勉強面とかでも生かしていきたいなと思いました。 (5組女子)

保護者の皆様へ



お忙しい中、たくさんの保護者の皆様に運動会を参観いただき、ありがとうございました。 また、育友会役員の皆様には、運動会当日の運営にご協力いただき、感謝申し上げます。

さて、次の大きな行事は<u>10月末の合唱コンクール</u>となります。それまでは、来週実施される<u>2学期中間テスト</u>をきっかけに、<u>学習に集中して取り組む時期に入ります</u>。本日の授業では、夏休みに保護者の皆様にご協力いただいた<u>「職業調べ」のレポートを発表</u>し、いろいろな職業について学び合いました。これから1年生の進路学習では、職業や働くことの意味や意義についての理解を深めていきます。ご家庭でも、日頃からお子さまの進路や学習について関心をもっていただき、少しずつ話題にしていただけると幸いです。